

第 1 8 期中間決算説明資料

(平成20年3月1日～平成20年8月31日)

For Year Ended February 28,2009

Interim Report

2008年10月9日



株式会社 **UCS**

UCS CO.,LTD.

JASDAQ

Listed Company 8787



目次

I 18期 上期の営業概況

1. 主要数値実績	3ページ
2. 主要財務数値	4ページ
3. 財務ハイライト	5ページ
4. 事業別業績	6ページ
5. 部門別業績	7ページ
6. カード会員数	8ページ
7. ショッピング取扱高	9ページ
8. カード稼働率・請求単価	10ページ
9. ショッピングリボ／総合割賦の取扱高・残高	11ページ
10. 融資取扱高・残高	12ページ
11. その他の金融・サービス事業	13ページ
12. リスクマネジメント	14ページ
13. 資金調達	15ページ

II 18期 下期および今後の取組み

1. 中期的視点	17ページ
2. 事業構造の改革	18ページ
3. 収益構造の改革	19ページ
4. 与信モデル改革	20ページ
5. コスト構造改革	21ページ
6. 18期通期業績見通し	22ページ

I 第18期上期の営業概況

(平成20年3月1日～平成20年8月31日)

1. 主要数値実績

	前中間期 (平成19年8月期)	当中間期 (平成20年8月期)	公表数値	前期比増減
営業収益 Operating revenues	9,618百万円	9,691百万円	(9,730百万円)	73百万円 (0.8%増)
営業利益 Operating income	1,544百万円	1,404百万円	(1,090百万円)	▲139百万円 (9.0%減)
経常利益 Ordinary income	1,549百万円	1,409百万円	(1,090百万円)	▲140百万円 (9.1%減)
当期純利益 Net income	915百万円	837百万円	(654百万円)	▲77百万円 (8.5%減)
1株あたり中間（当期）	48.67円	44.54円	(34.77円)	
純利益 Net income per share				

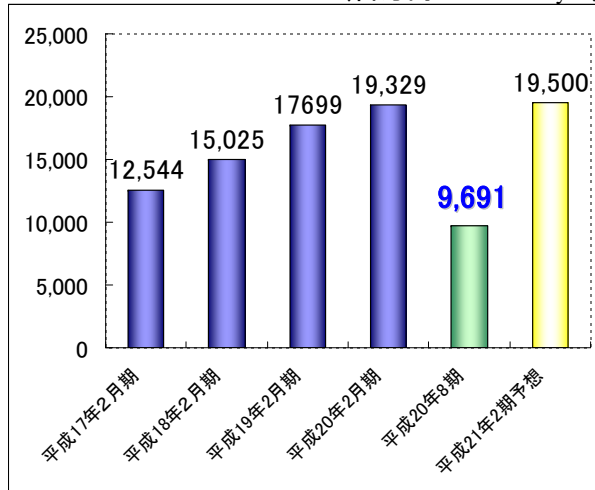
2. 主要財務数値

	前中間期 (平成19年8月期)	当中間期 (平成20年8月期)		増減
資本金 Common stock	1,610百万円	1,610百万円	➡	増減なし
総資産額 Total assets	110,541百万円	118,455百万円	➡	79億円 7.2%増
純資産 Total shareholders' equity	13,403百万円	14,786百万円	➡	13.8億円 10.3%増
自己資本比率 Shareholders' equity ratio	12.1 %	12.5%	➡	0.4%増
1株あたり純資産 Shareholders' equity per share	712.64円	786.17円	➡	73.53円増

3. 財務ハイライト

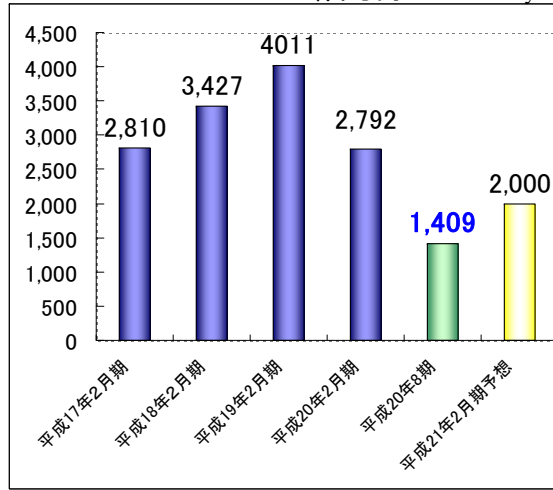
営業収益

(百万円/Millions of yen)



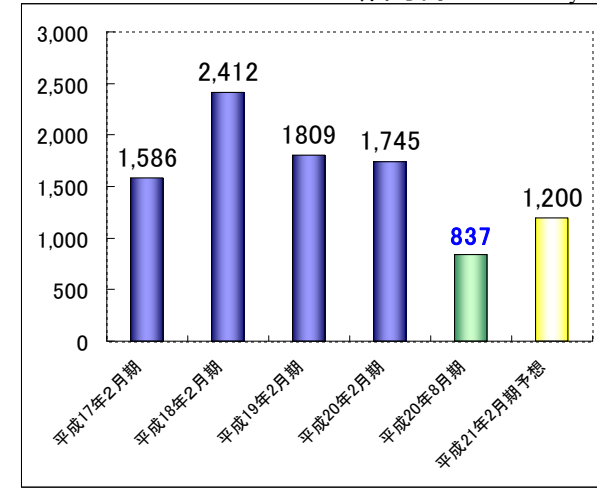
経常利益

(百万円/Millions of yen)

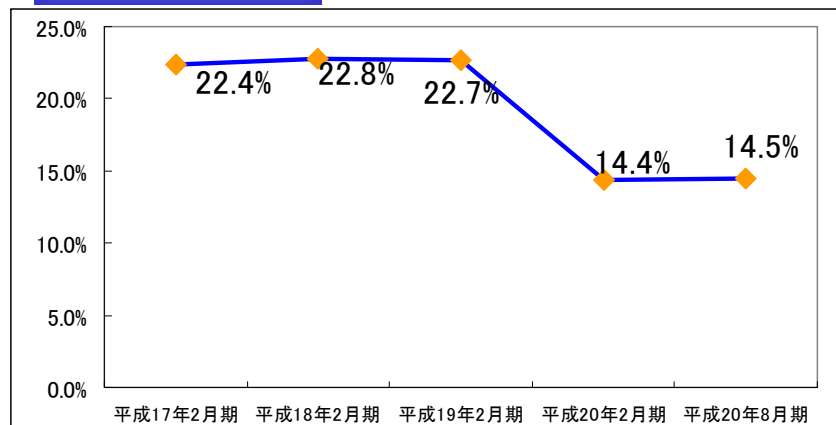


純利益

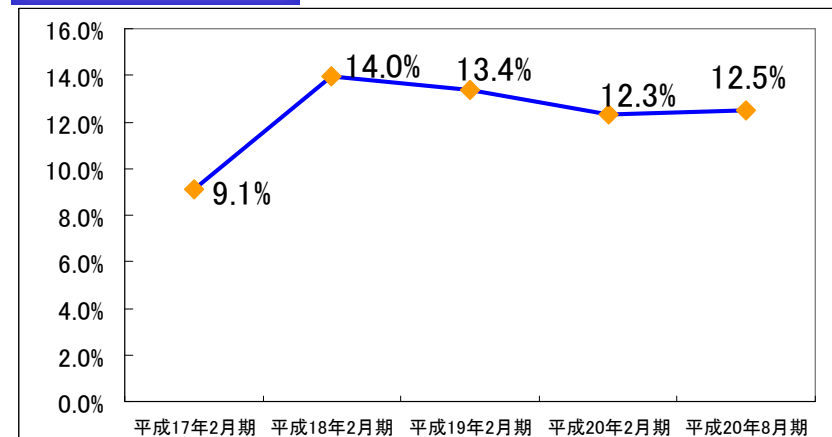
(百万円/Millions of yen)



経常利益率



自己資本比率



4. 事業別業績

カード事業

(単位：百万円/Millions of yen)

	平成19年8月期	平成20年8月期	前期比増減率
営業収益	8,835	8,910	0.7%
営業費用	7,659	7,869	2.7%
営業利益	1,183	1,041	-11.5%

保険リース事業

(単位：百万円/Millions of yen)

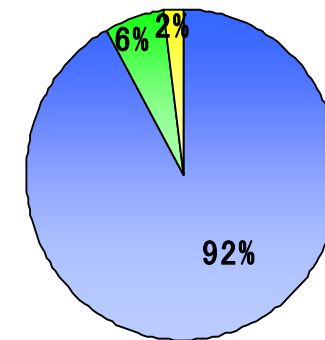
	平成19年8月期	平成20年8月期	前期比増減率
営業収益	583	586	0.5%
営業費用	355	363	2.2%
営業利益	228	223	-2.1%

会員サービス事業

(単位：百万円/Millions of yen)

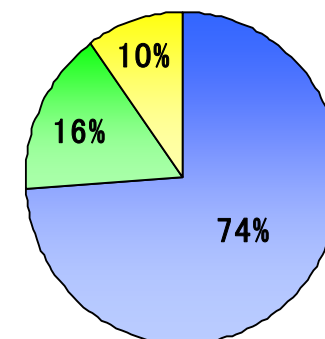
	平成19年8月期	平成20年8月期	前期比増減率
営業収益	201	196	-2.3%
営業費用	61	56	-8.7%
営業利益	140	140	0.5%

営業収益構成比



■ カード ■ 保険・リース ■ 会員サービス

営業利益構成比



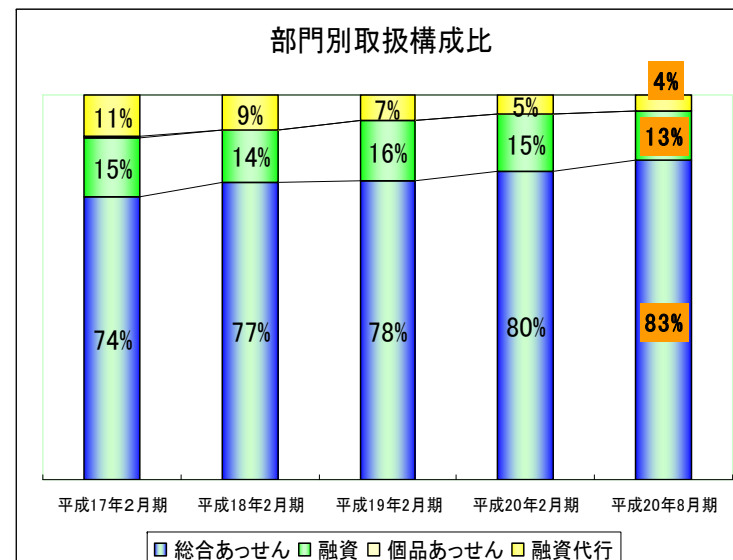
■ カード ■ 保険・リース ■ 会員サービス

5. 部門別業績

取扱高 Trading volume

(単位：百万円/Millions of yen)

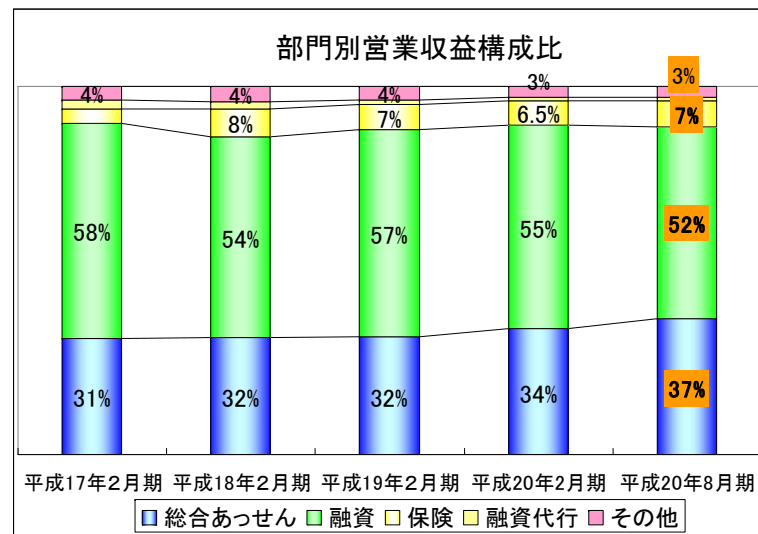
	平成19年8月期	平成20年8月期	前期比増減率
総合あっせん Creditcard shopping	148,316	166,830	12.5%
融資 Loans	29,734	25,136	-15.5%
個品あっせん Shoppingloans	65	50	-23.2%
融資代行 Service fee	9,666	7,777	-19.5%
合計 Total trading volume	187,783	199,794	6.4%



営業収益 Operating revenues

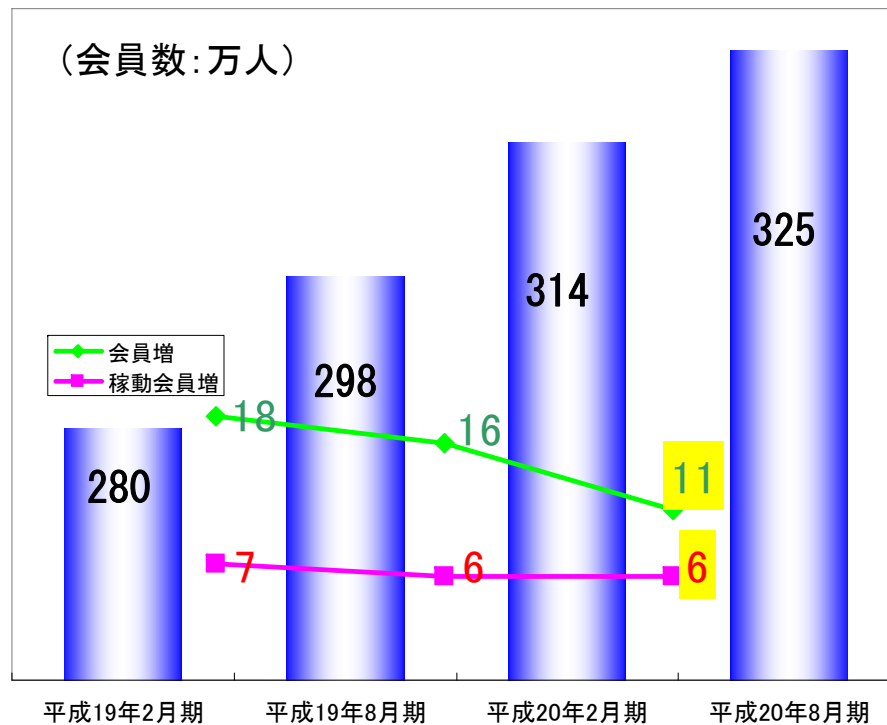
(単位：百万円/Millions of yen)

部門	平成19年8月期	平成20年8月期	前期比増減率
総合あっせん Creditcard shopping	3,156	3,554	12.6%
融資 Loans	5,432	5,057	-6.9%
融資代行 Service fee	104	82	-21.5%
保険 Insurance agent profit	634	639	0.7%
その他 Others	289	359	24.2%
合計 Total Operating revenues	9,618	9,691	0.8%



6. カード会員数

●新規会員募集	19.4万人	(前期24.2万人)
●カード発行者数	16.6万人	(前期21.2万人)
●退会者数	5.7万人	(前期4.2万人)
●会員数	325.4万人	(前期末+11万人純増)



量的拡大から質的拡大へ



稼動会員の獲得を中心とした活動

- ・店頭でのポイント診断
- ・携帯電話販売ショップでの即時審査、携帯電話決済
- ・モール店舗での即時発行
- ・非効率チャネルの募集見直し、中止

全体の会員募集数は減少したが、
稼動会員の獲得は従来どおり

7. ショッピング取扱高

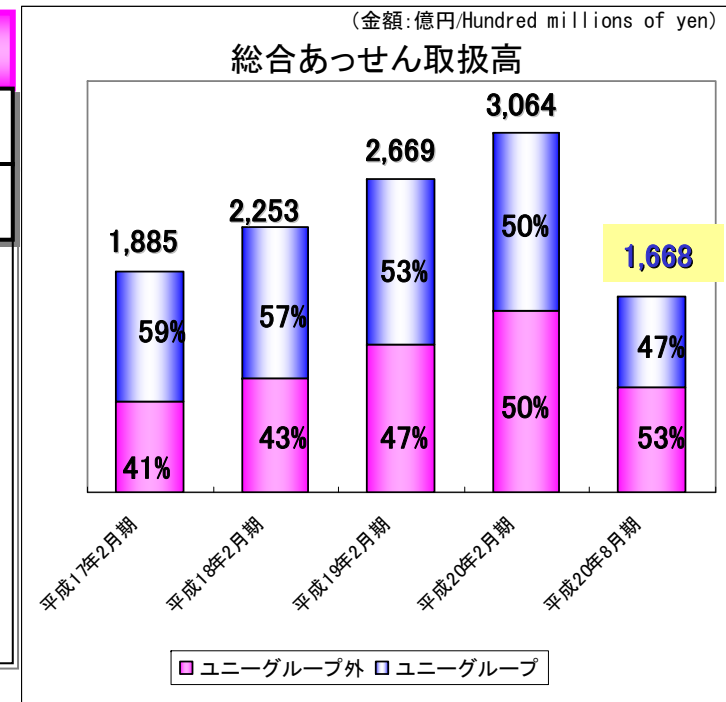
【取扱高】 **1,668億円**（前期比増減率 12.5%増）

●ユニーグループ 780億円（4.9%増）

●ユニーグループ外 888億円（20.2%増）

→国内景気停滞により、伸び率は若干鈍化したもののグループ内外ともに増加。グループ外は、日常決済領域を中心に引き続き20%以上の伸長。グループ内外構成比が、47：53となり、グループ外構成比が上回った。

	ユニーグループ	グループ外
取扱高	780億円（4.9%増）	888億円（20.2%増）
取扱高構成比	46.8%	53.2%
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ユニー、ユースタア合併記念セール ・食品売り場でのリボ払い取扱開始 	決済分野の拡大で、伸長継続。 <ul style="list-style-type: none"> ・電力、ガス、新聞 ・公金 ・携帯電話 ・ガソリン料金 ・ETC



8. カード稼働率・請求単価

【月間稼働率】 上期平均 33.4% (前期比0.8%アップ)

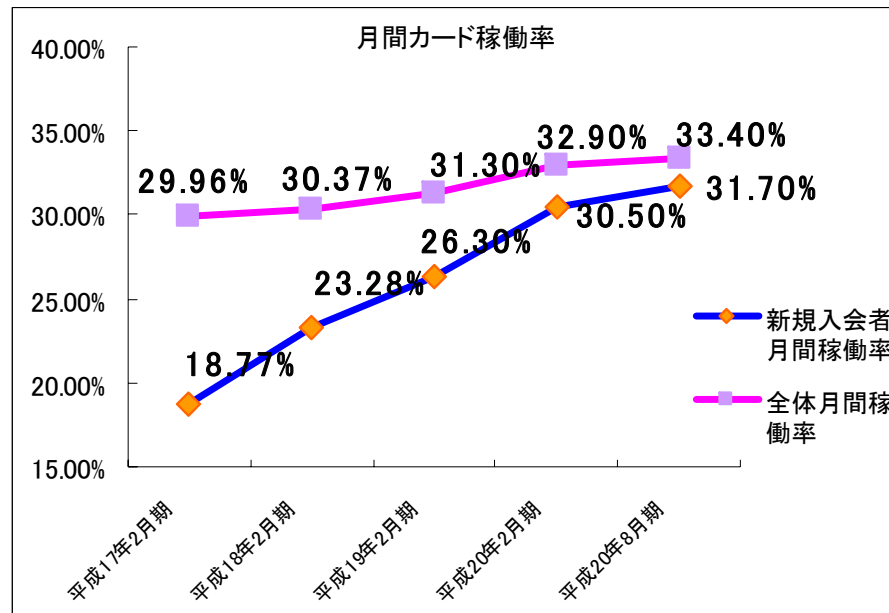
【年間稼働率】 2007.9~2008.8 55.0% (前期比1.0%アップ)

- ・新規入会者稼働率が着実にアップし、月間稼働率・年間稼働率も引き続き上昇。
即時発行、携帯電話ショップでの即時審査・即時電話料金決済登録など稼働会員開拓を
中心とした募集を推進。

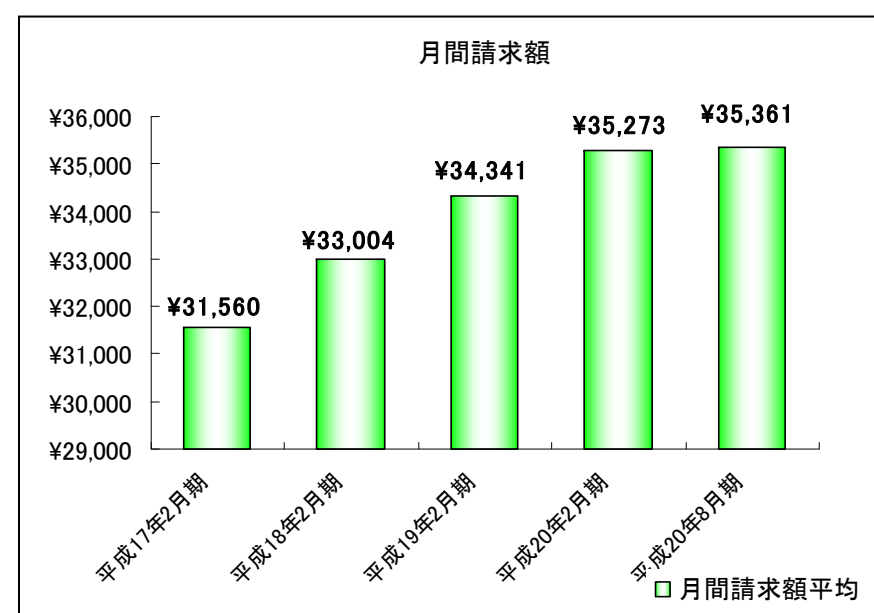
【月間請求額】 35,361円

※新規入会者月間稼働率=入会4ヵ月後の単月請求稼働

月間稼働率推移



月間請求額推移



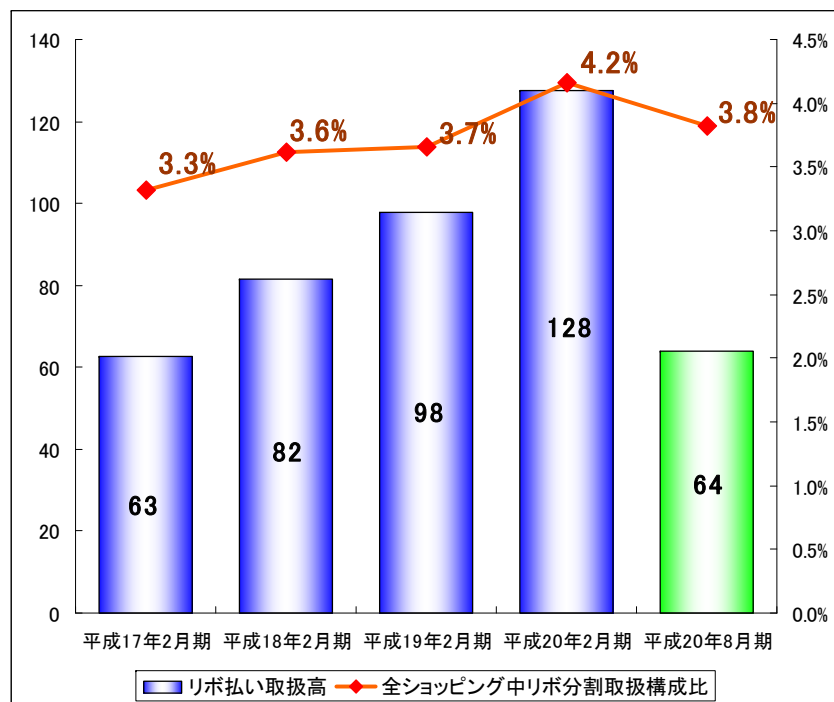
9. ショッピングリボ/総合割賦の取扱高・残高

【取扱高】 63.8億円 (前期比増減率2.5%減)
 【残高】 124.3億円 (前期比増減率9.7%増)

支払い自由型カードのサービスを一部見直し、取扱高は減少したが
 残高・収益ともに拡大した。

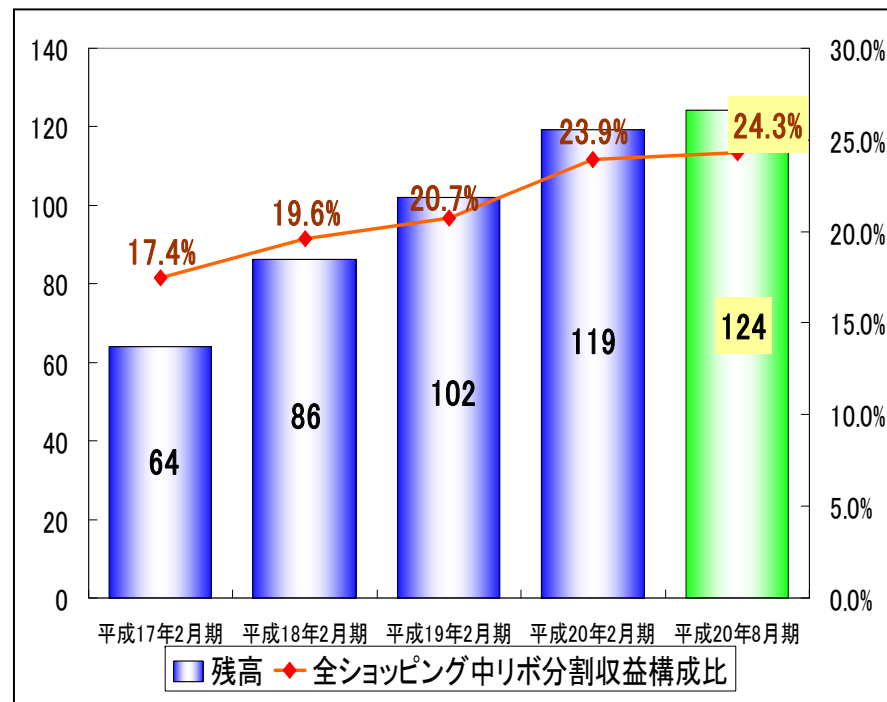
リボ分割取扱高・取扱比率

(金額:億円/Hundred millions of yen)



残高・収益構成

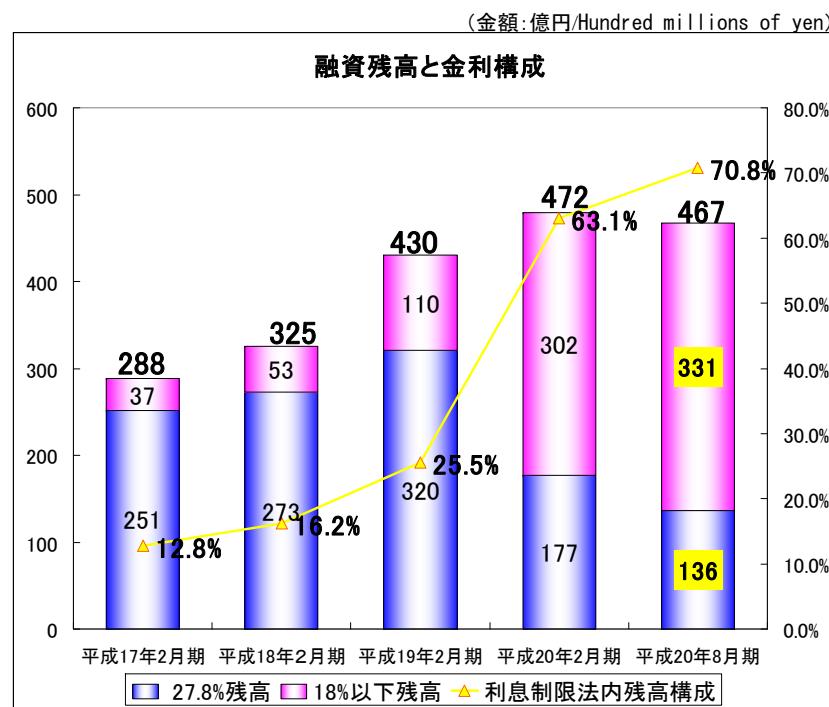
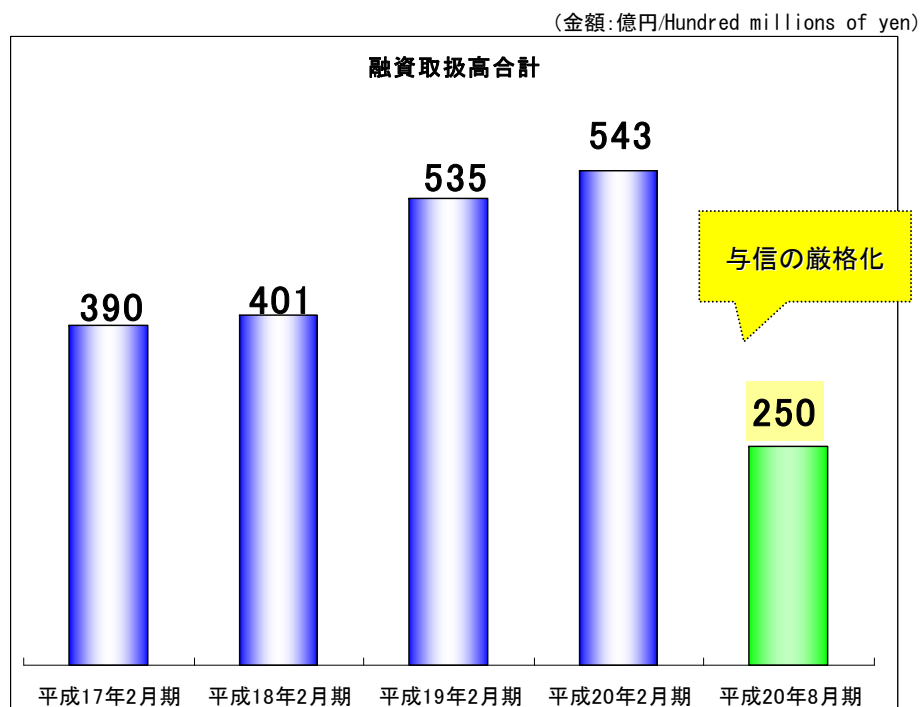
(金額:億円/Hundred millions of yen)



10. 融資取扱高・残高

【取扱高】 250億円 (前期比増減率15.5%減)
 【残高】 467億円 (前期比増減率0.3%減)

総量規制を見据え、与信を厳格化により取扱高および残高が減少。
 利率別の残高構成として、利息制限法内の残高が70.8%となった。



11. その他の金融・サービス事業

【営業収益】 **7.4億円**（前期比増減率0.9%減）

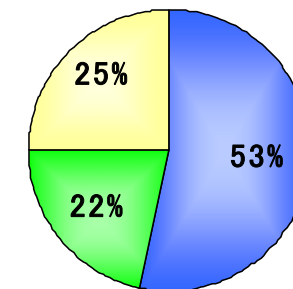
- ・ 保険、リースは堅調に収益増加。
 グループ団体自動車保険の新割引率適用開始。
 会員向けテレマーケティング保険で複数社の商品取扱い開始。
 車両リース契約台数 2,357台
- ・ 原油高騰により、海外旅行の取扱いが苦戦。

その他事業営業収益

（単位：百万円/Millions of yen）

事業別	平成19年8月期	平成20年8月期	前期比増減率
保険	634	639	0.7%
旅行	49	42	-14.8%
通信販売	20	6	-71.8%
リース	47	58	23.3%
合計	751	745	-0.9%

保険チャネル別営業収益構成比



■ 職域 ■ カード会員 □ 店頭・一般

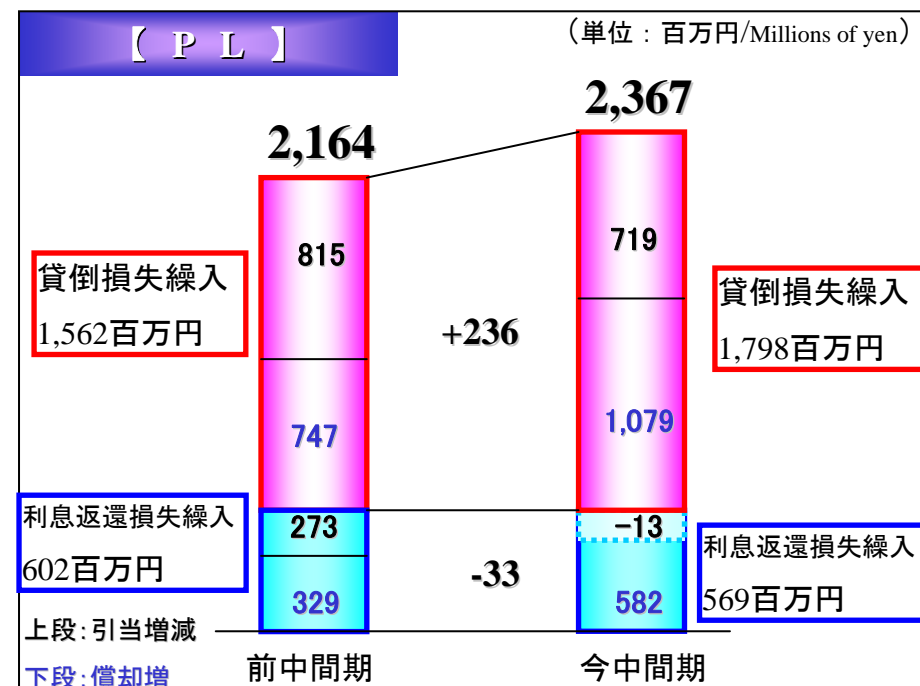
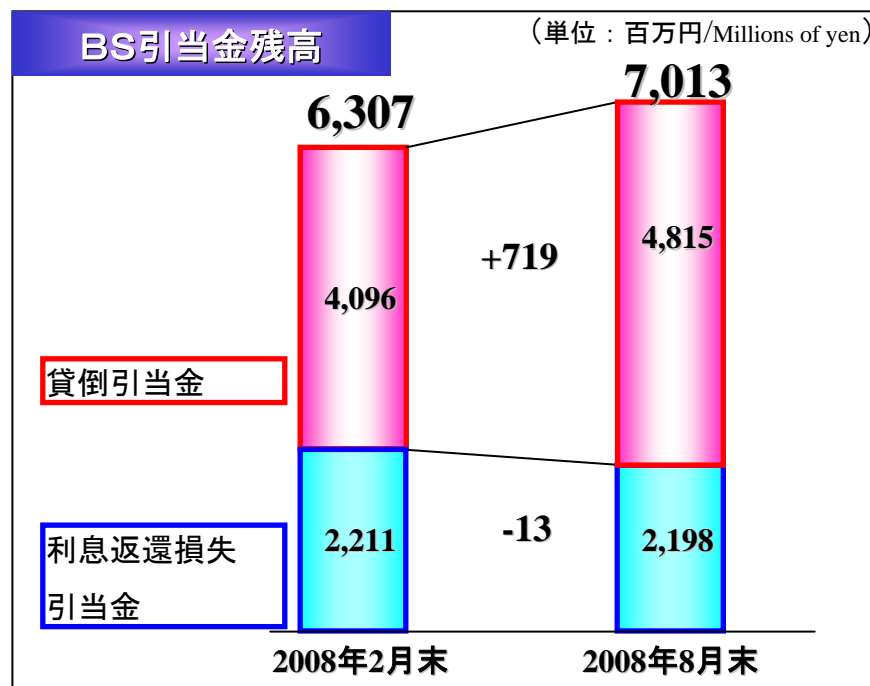
12. リスクマネジメント

(単位：百万円/Millions of yen)

	平成20年2月期	平成20年8月期	期首比増減額
貸倒引当金	4,096	4,815	719
利息返還損失引当金	2,211	2,198	-13
引当金合計	6,307	7,013	706

(単位：百万円/Millions of yen)

		平成19年8月期	平成20年8月期	前期比増減額
貸倒損失繰入	引当金	815	719	-96
	償却額	747	1,079	332
利息返還損失繰入	引当金	273	-13	-286
	償却額	329	582	253
合計	引当金	1,088	706	-382
	償却額	1,076	1,661	585



1 3. 資金調達

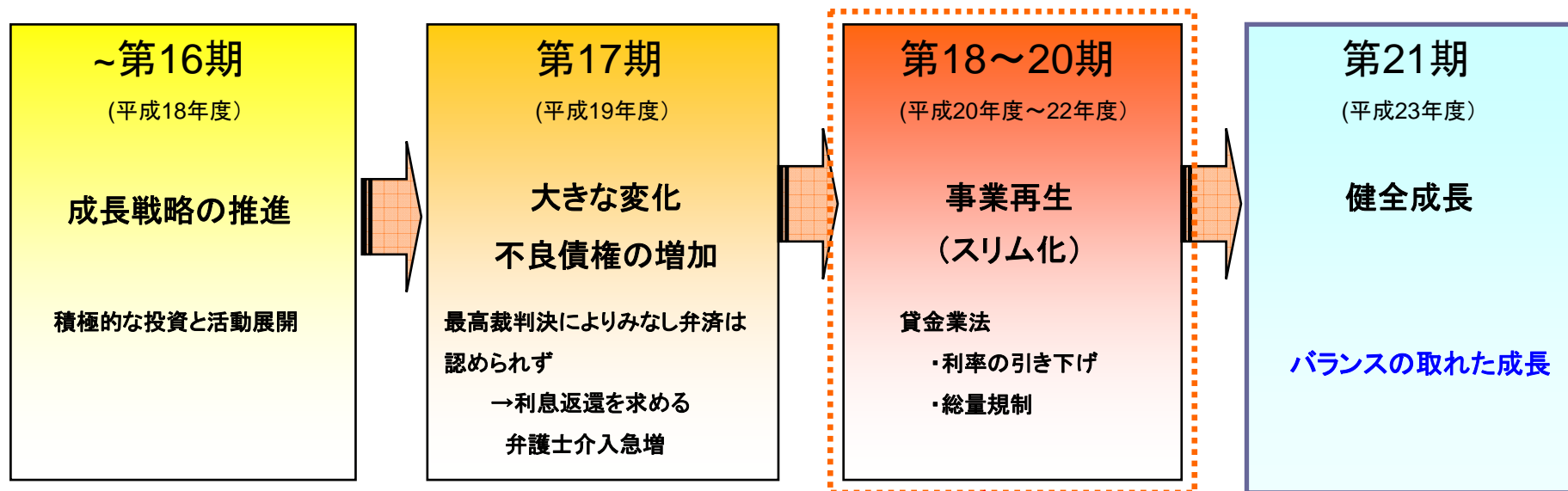
- ・長期調達比率が**76.6%**（前期末比 7.0%増）
調達金利も若干低下した。

（単位：百万円/Millions of yen）

	前期末 （平成20年2月末）	当中間期 （平成20年8月末）	増減
短期借入金	20,690	15,690	-5,000
長期借入金	49,700	54,700	+5,000
債権流動化	1,000	1,000	-
長期調達比率	69.6%	76.6%	+7.0%

Ⅱ 第18期下期および今後の取組み

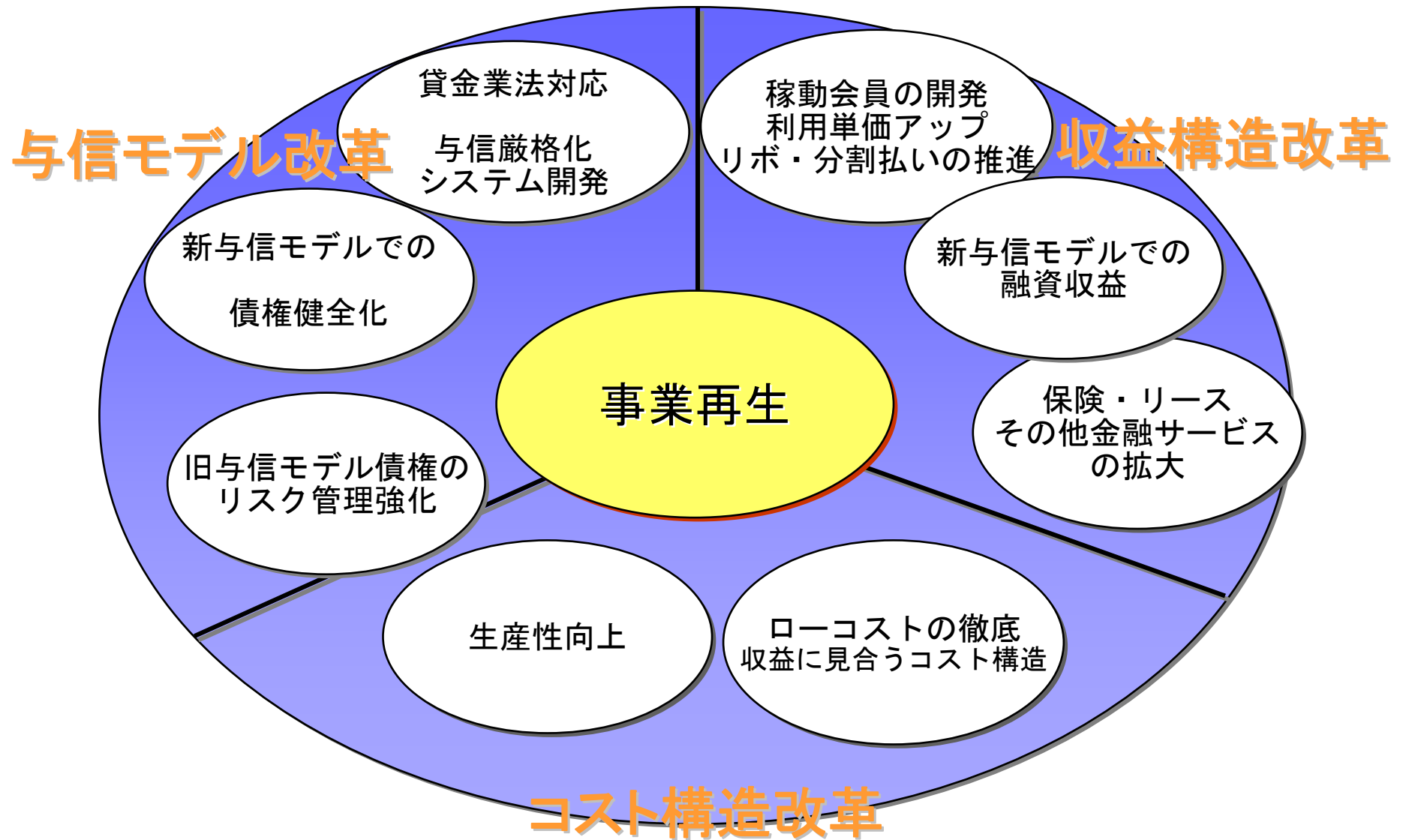
1. 中期的視点 ～事業の再生～



貸金業法への対応とカード事業の再生を優先的に進める。

1. 貸倒関連費用の増加を止め、クレジットリスクを一定水準以下にする。
2. すべての活動をスリム化し・先鋭化し、全体のコスト削減と生産性向上を図る。

2. 事業構造の改革



3. 収益構造改革

稼働会員の拡大
利用単価アップ
リボ・分割払い拡大

- ◆ 新店募集・・・アピタ御嵩(岐阜)、エアポートウォーク名古屋(愛知)、プレ葉ウォーク浜北(静岡)、ユースター里山(滋賀)
- ◆ 既存店募集・・・募集時点でのポイント診断によるカード利用促進徹底
- ◆ 携帯電話ショップ・・・募集時点で携帯電話料金決済紐付け
- ◆ 既存会員の活性化
 - ・日常決済分野の推進による優良会員化と優良会員施策の強化
 - ・割引制度変更に合わせたETCのさらなる推進
- ◆ リボ払い拡大、総合割賦(分割払い)の加盟店拡大、取扱高拡大

新与信モデルでの融資拡大

- ◆ 年収、属性、リスク分類による新基準での販促手法確立
- ◆ 顧客ニーズに合わせた新商品開発
- ◆ 目的別ローン(教育・医療など)の拡大

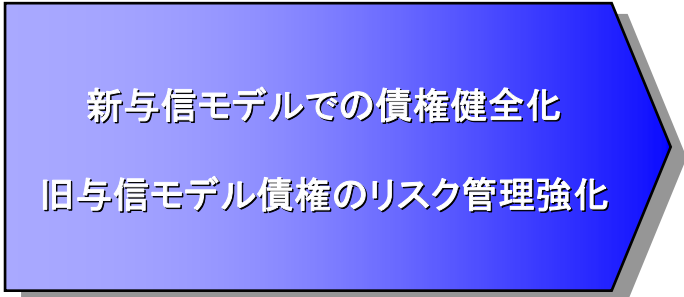
保険リースその他金融サービス拡大

- ◆ 職域・・・新特級代理店への格上げへ取り組む
- ◆ 会員向け・・・テレマーケティングの商品拡充とデータ分析による保険提案力強化
- ◆ ショップ・・・運営力強化による採算性向上
- ◆ グループ内保険制度として団体医療保険開始
- ◆ 旅行・・・他企業との提携により、国内旅行サービスを充実

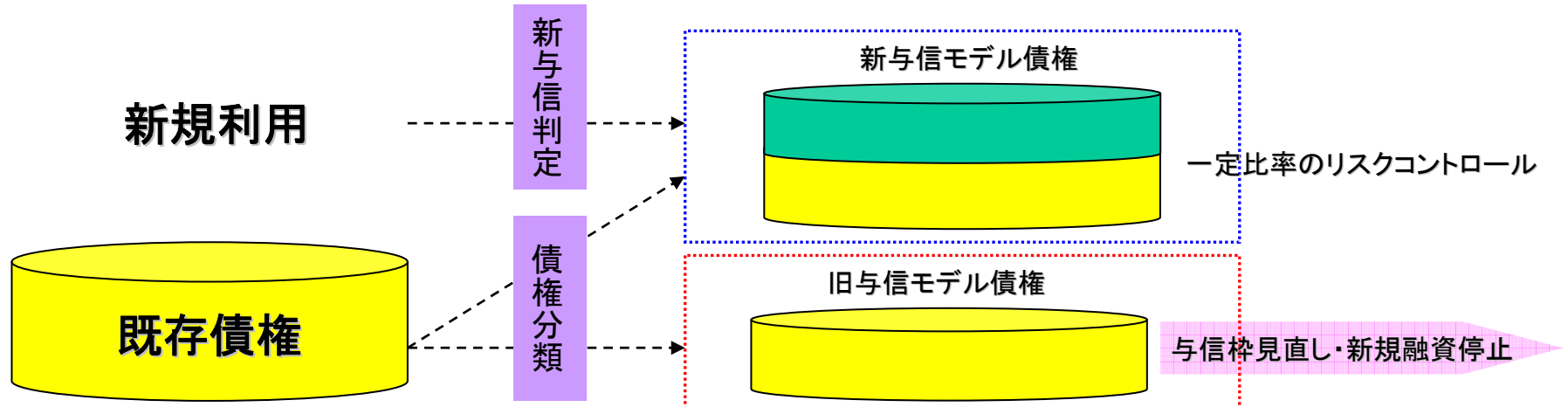
4. 与信モデル改革



- ◆ 3条施行対応
 - ・指定信用情報機関制度へのシステム対応
 - ・貸金業取扱主任者制度
- ◆ 4条施行対応
 - ・総量規制への対応＝法定途上与信による厳格対応



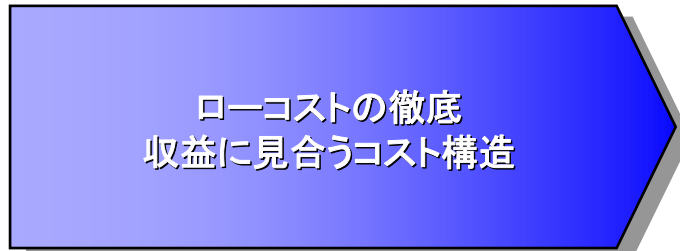
- ◆ 融資利率18%以下に適合、かつ貸金業法を遵守した新与信モデル
- ◆ 途上与信基準見直しによる債権健全化
 - リスクコントロールの厳格化
- ◆ 旧与信モデル債権で、新与信モデルに適合しない債権のリスク管理強化
 - 総量規制を見据えた債権の分類分けと早期の対応



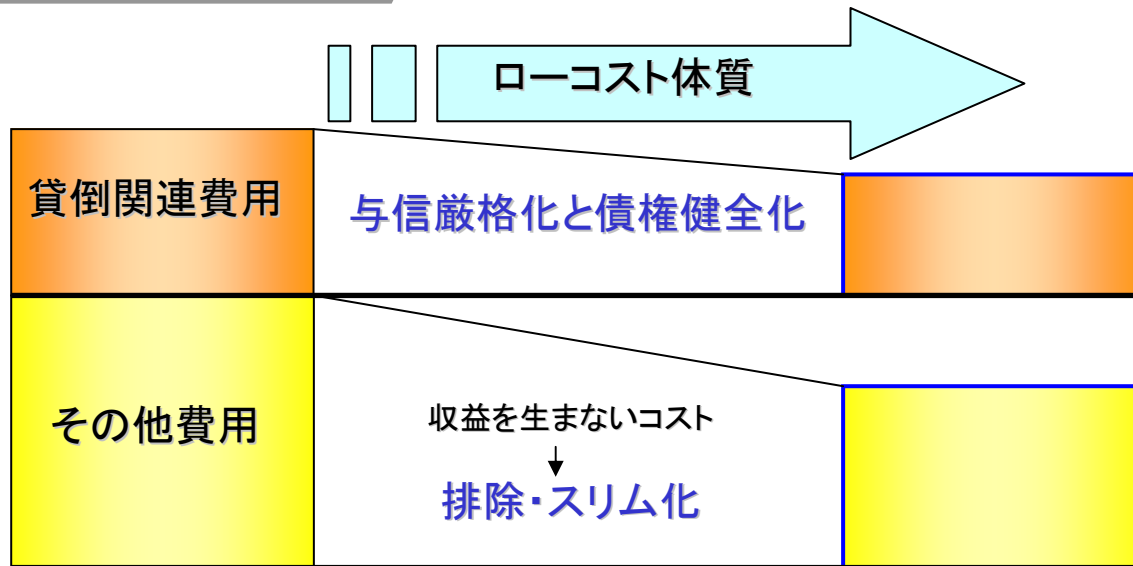
5. コスト構造改革



- ◆ 発生の抑制
旧与信モデル＝リスク管理強化による延滞債権増加の抑制
- ◆ 回収力強化による貸倒コストの抑制
- ◆ 新与信モデルでの債権健全化



- ◆ 従来の一律にかかるコスト構造をあらゆる面で見直し
- ◆ 人的生産性、業務効率の見直し
- ◆ 低利、安定的な資金調達と調達手段の多様化



6. 1 8 期通期業績見通し

営業収益 195億円

経常利益 20億円

当期純利益 12億円